

あらゆるアプリのログインを自動化する 企業向け多要素認証サービスに注目

デジタル証明書¹の運用を強力に支援し、安全と利便性を両立

DXの取り組みが加速し、クラウドシフトやモバイルデバイス活用が促進されている状況のなか、業務で利用するアプリは急増。セキュリティを担保しながら複数の業務アプリを快適に使えるSSO+多要素認証サービスの活用を検討したい。

業務アプリの増加とモバイルデバイス活用の促進で ID/パスワードを用いた認証に限界が生じる

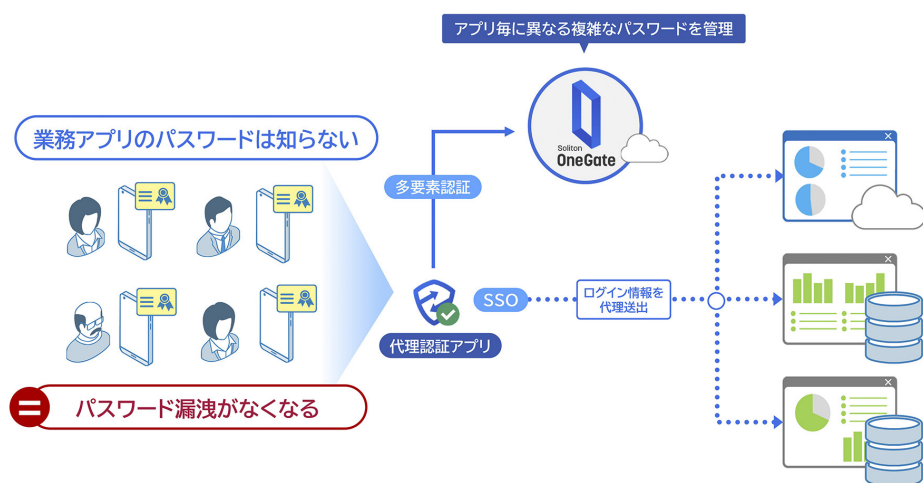
デジタルトランスフォーメーション（DX）の波はあらゆる業種に押し寄せており、昨今では製造・建設・流通といった“現場”のデジタル化に取り組む企業も増加の一途を辿っている。働き方改革によりリモートワークが推進されたこともあり、スマートフォンやタブレットといったモバイルデバイスの活用が促進。それに合わせてクラウドサービスやアプリケーションを用いて業務効率化を図る動きも加速しており、いまや100以上のクラウドサービスを業務アプリとして利用しているという企業もめずらしくない状況だ。

このように、クラウドシフトや現場DXを推進する企業が増えてきたことで顕在化してきたのが、クラウドサービスをはじめとした業務アプリ利用時のID/パスワード運用における課題である。1つの作業を行うたびにID・パ

スワードの入力を求められたのでは、業務効率化を損なう本末転倒な結果を招きかねず、そもそも数十～数百に及ぶ業務アプリのID/パスワードすべてをユーザーに覚えさせるのは現実的とはいえない。パスワードを忘れるユーザーが増えれば、IT管理者にかかる負荷も増えてしまう。とはいえ、覚えやすい簡単なパスワードを設定したり、複数の業務アプリで同じパスワードを使い回したりすると、セキュリティ面でのリスクが跳ね上がり、機密情報の漏えいなど、企業としての信頼を損失するような事態を引き起こすことになる。

このため、多くの企業はシングルサインオン（SSO）の仕組みを採用することで、セキュリティと利便性の両立を図っているが、クラウドシフトやモバイルデバイスの活用が進んでいる現在、社内（オフィス）に導入していた従来のSSOの仕組みでは対応できないケースも少なくない。既存の社内システムやスマートデバイスのネイティブアプリでは、SSOの標準規格であるSAML認証に対応しな

いケースもあり、ID/パスワードによる運用を完全になくすことは困難。ユーザーによるID/パスワード管理が一部でも残ってしまえばセキュリティの確保も難しくなる。そこで注目したいのが、デジタル証明書+αの多要素認証（MFA）で強固なセキュリティを実現し、代理認証機能でSAML非対応アプリも含めた認証情報の一元管理を可能とする、ソリトンシステムズの多要素認証サービス「Soliton OneGate」だ。



代理認証アプリによるID/パスワードの代行入力に対応するSoliton OneGateは、SAML非対応アプリのSSOを実現。アプリ毎に異なる複雑なパスワードを管理できるため、ユーザーをパスワード管理負担から解放することができる

代理認証アプリを実装し SAML 非対応アプリに対応 デジタル証明書 + αの多要素認証でセキュアに運用

Soliton OneGate は、クラウドシフトやモバイルデバイス活用を推進する企業からの「セキュリティを担保しながらユーザー・管理者双方の負荷をできるだけ軽減したい」といったニーズに応えるために開発されたクラウド型の ID 認証サービスとなる。代理認証アプリ「Soliton PasswordManager」を実装し、SAML 対応アプリはもちろん、SAML 非対応の社内システムやネイティブアプリの SSO にも対応。ID/パスワードによる認証を自動化し、ユーザーにパスワードを知らせることなく業務アプリの運用が行える。これによりパスワードの使い回しや漏えいのリスクを解消。ユーザーは安全性を担保しながら、ID/パスワードの入力に煩わされずに作業が行え、管理者もすべての業務アプリの認証情報を一元管理できるようになる。取引先との情報共有のために一部のユーザーだけが利用しているクラウドサービスについても、社員をパスワー



社員証など、すでに導入されているICカードを利用した認証にも対応。ICカードをスマートフォンにかざすだけでログインすることができる。

ド管理負担から解放することができるなど大きな効果を発揮してくれる。

実際、パスワードの漏えい防止と運用負荷（定期的なパスワード変更ルール）の軽減を目的に、Soliton OneGate を導入した建設業者では、全社員で年間約 1 万時間（400 万回）にも及んでいたパスワード入力の負担を劇的に軽減することに成功。現場向けアプリの活用が促進され、生産性の向上につながっているという。

また、SSO を活用するうえで重要となる、“初回のログイン（認証）”に関しては、高い安全性を実現する「デジタル証明書」と、生体認証・スマホ認証・パスワード認証・IC カード認証などを組み合わせた多要素認証の仕組みを採用。デジタル証明書は、なりすましの防止など強固なセキュリティを実現する一方、証明書の発行・配布といった運用における負担が大きいという課題があるが、Soliton OneGate では、デジタル証明書の運用を強力に支援する機能を実装。運用面で導入をためらっていた企業にとっても有効な選択肢となる。

モバイルデバイス内蔵の生体認証ではキーボード入力なく認証もスムーズに行え、倉庫や夜間作業など照度が十分にとれないケースでは、社員証をスマホにかざすだけでログインできる IC カード認証が有効となるなど、複数の認証方式に対応することで多様な現場のニーズに対応。すでに社内に導入している社員証など既存の IC カードとスマホの NFC を組み合わせた認証に対応する SSO ソリューションは限られており、IC カード認証システムを開発・提供してきたソリトンシステムズの実績とノウハウが遺憾なく反映された機能といえる。

クラウド型のサービスで既存の環境にも組み込みやすい Soliton OneGate。DX に取り組み、クラウドサービスの利用や現場のモバイルデバイス活用を促進したいなら、導入を検討する価値は大いにあるはずだ。

株式会社ソリトンシステムズ

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-4-3

お問い合わせ TEL. 03-5360-3811 E-mail. netsales@soliton.co.jp

<https://www.soliton.co.jp/onegate/>

すべての製品名、サービス名、会社名、ロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。